

臨床研究「前十字靭帯再建術後早期関節水腫が術後成績に与える影響に関する後ろ向き観察研究」について

筑波大学附属病院整形外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下の通りです。

① 研究の目的

膝前十字靭帯損傷は膝関節の不安定性を引き起こし、膝くずれなどの症状を起こします。前十字靭帯損傷に対する手術として、前十字靭帯再建術という手術があります。手術成績は向上しているのですが、残念ながら一定の割合で再損傷をしてしまいます。本研究では患者様方の手術後3ヶ月のMRIを調査し、関節液の貯留(膝が腫れている)が再損傷と関連しているかを後ろ向きに検討し、今後の治療に役立てたいと考えています。

② 研究対象:以下に該当する方を対象とします。

2014年1月から2019年12月の間に筑波大学附属病院で前十字靭帯損傷と診断された患者様のうち、同院で前十字靭帯再建術を受けた患者様

③ 研究期間:倫理委員会承認後 ～ 2024年3月31日まで

④ 研究の方法

今回の臨床研究では、過去に行われた診療記録(カルテ記録)、検査データ、画像データを参照しながらデータを集める後ろ向き研究で、患者様に新たなご負担を強いることはありません。また、個々の患者様が特定できるような個人情報は一切省き、データは匿名化して使用します。

⑤ 試料・情報の項目:診療記録、検査データ、画像データ

⑥ 研究機関名・研究者名

筑波大学 医学医療系 整形外科(○:代表者)

○金森章浩、菊池直哉

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族(ご遺族)が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑧ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院 〒305-8576 茨城県つくば市天久保2-1-1

所属・担当者名:整形外科 運動器医療学 菊池直哉

電話/FAX:029-853-3219/029-853-3162

対応可能時間:平日9～17時